横浜天声キリスト教会　週報　第18巻13号（No.685）　2023年3月26日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　イザヤ43:18-19 ・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21番　力の主を
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・ 35番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 177番　御霊よ、降りて
礼拝のための祈り　・・・・・・・ 成田エクレシア：河執事　天声：小林伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86番　たよりまつるイエスは
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・ 道のない所に道をつくり安全に行かせる主(ヨシュア記3章)
御言葉を適用する祈り　・・ 会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 221番　カナンの聖なる地に
幸せと成功の宣言文 ・・・・ 会衆一同
献金感謝の祈り　・・・・・・・・ パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

＿＿＿は弱った手を強くし、よろめくひざを健やかにせよ。心おののく者に言え、「強くあれ、恐れてはならない。見よ、＿＿＿の神は報復をもって臨み、神の報いをもってこられる。神は来て、＿＿＿を救われる」と。その時、見えない人の目は開かれ、聞えない人の耳は聞えるようになる。その時、足の不自由な人は、しかのように飛び走り、口のきけない人の舌は喜び歌う。それは荒野に水がわきいで、さばくに川が流れるからである。
焼けた砂は池となり、かわいた地は水の源となり、山犬の伏したすみかは、葦、よしの茂りあう所となる。そこに大路があり、その道は聖なる道ととなえられる。汚れた者はこれを通り過ぎることはできない、愚かなる者はそこに迷い入ることはない。そこには、ししはおらず、飢えた獣も、その道にのぼることはなく、その所でこれに会うことはない。
ただ、あがなわれた者のみ、そこを歩む。主にあがなわれた者は帰ってきて、その頭に、とこしえの喜びをいただき、歌うたいつつ、シオンに来る。彼らは楽しみと喜びとを得、悲しみと嘆きとは逃げ去る。（イザヤ35章）

メッセージ概要

今年に入って聖徒達には色々な「反転」が起きており、今まで通った事がない道を進む経験をしている。この変化の時期は試練の時でもあり、時に喜ばしいものではなく、悲しく思われる事もあるかもしれないが、主は聖徒をいつまでも悲しませるお方ではない。むしろ平安・安息の地へ導くために通らされるのである。今回、以前の不信仰から「反転」して、新しい祝福へとまさに入って行くイスラエルの新世代から学びたい。

「*レビ人である祭司達が、あなたがたの神、主の契約の箱をかき上げるのを見るならば、あなたがたはその所を出立して、その後に従わなければならない。そうすれば、あなたがたは行くべき道を知る事ができるであろう。あなた方は前にこの道を通った事がないからである。しかし、あなた方と箱との間には、おおよそ二千キュビトの距離を置かなければならない。それに近づいてはならない。*」（ヨシュア記3:3-4）
イスラエルの民は、今まで通った事のなかった道を通って、まさに約束の地に入ろうとしている。目の前に広がるのは、春の冷たい雪解け水でいっぱいのヨルダン川。その水の流れを超えて行くのは、危険極まりない、と人は考える。しかし、**主は、道をつくられる**。道ではない、と人が言うような所に道を設け、神の民だけが通れるようにする。出エジプトの時のように。 あの時、紅海の水は割れて、神の民はそこを通り、神の民から奪い搾取しようとする者たちが同じく渡ろうとすると、水は元に戻って、彼らを飲み込んでしまった。

ヨシュア記においては、祭司が川を進んだのは、目の前の川の流れがせき止められたからではない。まだ川がたっぷり水を湛えて、流れている時だった。しかし祭司が足を一歩踏み出し、足が水に浸ると、川は、堰き止められた。一歩先は冷たく流れの強い川。底が見えない深淵に足を踏み出すような恐怖を覚えつつも、約束を信じて一歩踏み出すと、そこはことごとく安全だった。そして進めば進むほど、祝福が増し加わっていく。ヨルダン渡河はその繰り返しで、祭司達はついに川底にたどりつく。そして民が全員、渡り切るまで、川底に留まり続ける。主が川底で12の石を拾うように言われたのは、次世代のために、主のあかしを建てるためだ。私達も今、川を渡っているとするなら、主のあかしのしるしを次世代へ残すべきだ。

今、私達は、何を担いで運んでいるだろう？　もし「契約の箱」を担いでいるなら、私達は死の川に流される事を一切恐れる必要は無い。では今の私達にとって、契約の箱とは何だろう。契約の箱には、3つの物が入っている。すなわち、**主の契約が書かれた御言葉の「石の板」**であり、また**神がいのちを養って下さったしるしの「マナの壺」**であり、そして、死からいのちへの復活のしるしの**「アロンの杖」、つまり、主イエス・キリストという永遠の祭司のしるし**である。 私達も、それを日々心に置き、霊に握りしめながら歩んでいるとするなら、祭司として、どんな死の川が横たわっていたとしても、死を踏みつけながら、進み行く事が出来る。
また、一般の聖徒に対しては、契約の箱を担いだ祭司との間に二千キュビトの距離をおいてついて行く事が命令されていた。 つまり、自分勝手に御言葉を超えて行動をしたり好き勝手な所に留まりたいといった「自我」を一切降ろした人こそ、アブラハムとの契約の地に入れる、という事である。神様の言葉による命令は、目に見えない。しかし、主の働き人（祭司）は、それを実行して、見える形にして、行動で示すのだ。それについていく人、あるいは、その働きをする働き人こそが、祝福の約束の実体を得る事ができるのだ。

ヨルダン渡河は、イスラエルの民が四十年前、不信仰ゆえに出来なかった事への信仰のリベンジだった。今、私たちは、四百年ずっと霊的に詰まった状態に、リベンジを試みている。目の前の環境は、ヨルダン川のように目まぐるしく変化しているかもしれない。激しい流れで道が無いかのように見えて、どうすればいいか分からないかもしれない。しかし、主イエス・キリストの御言葉の約束、いのちと養いと復活の保証を担ぎながら渡っているなら、守られており、さらにすぐれた道・すぐれた人・すぐれた約束の地へと導かれるのだ。
神様の「行きなさい」という命令に従って一歩踏み出すなら、自分ではせき止められない川も、せき止められ、今まで誰も歩いたことがない道、敵には決して渡れない道を通って、約束の地へと入る事ができる。
そこでは、祝福の分捕りが約束されており、安心して、信仰の次世代を育てて行くことができる。
信仰を持って一歩を踏み出し、ヨルダンを渡り切って、祝福を受け継いでいく私達でありますように！
イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	11:30 開始
交わり	13～14 時
English Service	14 時半開始

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会 19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 18 巻 13 号　　2023 年 3 月 26 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp